１２　大学・大学院

[Ⅰ-12-1表] 　　主要指標の推移



（１）学校数

ア　学校数は55校で、前年度と同数である。 [Ⅰ-12-1表]

イ　設置者別では、国立2校(構成比3.6％)、公立2校(同3.6％)、私立51校(同92.7％)である。 [Ⅰ-12-1表]

ウ　都道府県別では、東京都137校、大阪府55校、愛知県50校の順である。 [付表-5]

（２）学生数

ア　学生数は236,922人で、前年度より3,499人(対前年度1.5％)増加している。

[Ⅰ-12-1表]

イ　設置者別では、国立29,324人(構成比12.4％)、公立16,193人(同6.8％)、私立191,405人(同80.8％)である。 [Ⅰ-12-1表]

ウ　男女別では、男子146,312人(構成比61.8％)、女子90,610人(同38.2％)で、前年度より男子は408人、女子は3,091人増加している。 [統計表53]

エ　昼夜別では、昼間234,364人(構成比98.9％)、夜間2,558人(同1.1％)である。

[統計表56]

オ　学生数の内訳は、学部215,824人(構成比91.1％)、大学院17,637人(同7.4％)、専攻科145人(同0.1％)、別科488人(同0.2％)、その他(科目等履修生・聴講生・研究生)2,828人(同1.2％)である。 [統計表56]

カ　都道府県別では、東京都746,397人、大阪府236,922人、神奈川県193,878人の順である。

 [付表-5]

（３）学部学生数

ア　学生数のうち学部学生数は215,824人で、前年度より3,262人(対前年度1.5％)増加している。 [Ⅰ-12-1表]

イ　設置者別では、国立19,699人(構成比9.1％)、公立12,430人(同5.8％)、私立183,695人(同85.1％)である。 　　　 [Ⅰ-12-1表]

ウ　男女別では、男子132,183人(構成比61.2％)、女子83,641人(同38.8％)で、前年度より男子は334人、女子は2,928人増加している。 　 [Ⅰ-12-2表]

エ　昼夜別では、昼間214,261人(構成比99.3％)、夜間1,563人(同0.7％)である。

[統計表56]

オ　関係分野別では、社会科学関係79,673人(構成比36.9％)、人文科学関係31,061人(同14.4％)、工学関係28,929人(同13.4％)の順である。 [Ⅰ-12-2表・Ⅰ-12-1図]

[Ⅰ-12-2表] 　 関係分野別学部学生数　****

[Ⅰ-12-1図] 　　　　関係分野別学部学生数の割合



[Ⅰ-12-2図] 　女子学生の占める割合



（４）入学状況

ア　入学者数は53,354人で、前年度より1,147人(対前年度2.2％)増加している。そのうち18歳の入学者数は、42,401人(構成比79.5％)である。 [統計表58]

イ　男女別では、男子32,121人(構成比60.2％)、女子21,233人(同39.8％)で、前年度より男子は178人、女子は969人増加している。 [統計表58]

ウ　入学者を出身高等学校の所在地別にみると、近畿地方出身者は43,789人(構成比82.1％)である。そのうち、大阪府内高等学校出身者は26,459人で、全入学者に占める割合は49.6％である。 [Ⅰ-12-3表]

[Ⅰ-12-3表] 出身高校の所在地別入学者数と大阪府内高校卒業者の大学所在地別入学者数



（５）大学院の学校数

ア　学校数は45校で、前年度と同数である。 [統計表54]

イ　設置者別では、国立3校(構成比6.7％)、公立2校(同4.4％)、私立40校(同88.9％)である。 [統計表54]

（６）大学院学生数

ア　大学院学生数は17,637人で、前年度より285人(対前年度1.6％)増加している。

[Ⅰ-12-1表]

イ　設置者別では、国立8,394人(構成比47.6％)、公立3,595人(同20.4％)、私立5,648人(同32.0％)である。 [Ⅰ-12-1表]

ウ　男女別では、男子12,369人(構成比70.1％)、女子5,268人(同29.9％)で、前年度より男子は196人、女子は89人増加している。 [統計表53]

エ　昼夜別では、昼間16,947人(構成比96.1％)、夜間690人(同3.9％)である。[統計表56]

オ　課程別では、修士課程11,100人(構成比62.9％)、博士課程5,199人(同29.5％)、専門職学位課程1,338人(同7.6％)である。 [統計表60]

カ　関係分野別では、工学関係6,147人(構成比34.9％)が最も多く、次いで社会科学関係2,878人(同16.3％)、保健関係2,733人(同15.5％)の順である。 [Ⅰ-12-4表]

[Ⅰ-12-4表] 　　専攻分野別大学院学生数



（７）教員数（本務者）

ア　教員数(本務者)は13,258人(うち、学長52人、副学長77人)で、前年度より50人(対前年度0.4％)増加している。このうち外国人教員数(学長・副学長を除く)は、580人(構成比4.4％)である。 [Ⅰ-12-1表・統計表61・62]

イ　設置者別では、国立3,466人(構成比26.1％)、公立1,360人(同10.3％)、私立8,432人(同63.6％)である。 [Ⅰ-12-1表]

ウ　男女別では、男性10,434人(構成比78.7％)、女性2,824人(同21.3％)で、前年度より男性は70人減少し、女性は120人増加している。 [統計表61]

（８）教員数（兼務者）

ア　教員数(兼務者)は14,321人で、前年度より72人(対前年度△0.5％)減少している。このうち外国人教員数は1,056人(構成比7.4％)である。 [統計表61]

イ　設置者別では、国立1,204人(構成比8.4％)、公立1,117人(同7.8％)、私立12,000人(同83.8％)である。 [統計表61]

１３　短期大学

[Ⅰ-13-1表] 　　主要指標の推移



（１）学校数

ア　学校数は25校で、前年度より1校減少している。 [Ⅰ-13-1表]

イ　設置者別では、私立25校(構成比100.0％)である。 [Ⅰ-13-1表]

ウ　都道府県別では、東京都38校、大阪府25校、愛知県22校の順である。 [付表-5]

（２）学生数

ア　学生数は11,448人で、前年度より263人(対前年度△2.2％)減少している。

[Ⅰ-13-1表]

イ　男女別では、男子918人(構成比8.0％)、女子10,530人(同92.0％)で、前年度より男子は45人、女子は218人減少している。 [統計表63]

ウ　昼夜別では、昼間11,251人(構成比98.3％)、夜間197人(同1.7％)である。　[統計表66]

エ　学生数の内訳は、本科11,034人(構成比96.4％)、専攻科57人(同0.5％)、別科30人(同0.3％)、その他(科目等履修生・聴講生・研究生)327人(同2.9％)である。 　[統計表66]

オ　都道府県別では、東京都15,041人、大阪府11,448人、愛知県8,734人の順である。

[付表-5]

（３）本科学生数

ア　学生数のうち、本科学生数は11,034人で、前年度より316人(対前年度△2.8％)減少している。 [Ⅰ-13-1表]

イ　男女別では、男子859人(構成比7.8％)、女子10,175人(同92.2％)で、前年度より男子は73人、女子は243人減少している。 [Ⅰ-13-2表]

ウ　昼夜別では、昼間10,837人(構成比98.2％)、夜間197人(同1.8％)である。　[統計表66]

エ　関係分野別では、教育関係3,773人(構成比34.2％)が最も多く、次いで人文関係2,162人(同19.6％)、家政関係1,892人(同17.1％)の順である。 [Ⅰ-13-2表・Ⅰ-13-1図]

[Ⅰ-13-1図] 　　関係分野別本科学生数の比率



[Ⅰ-13-2表] 　　関係分野別本科学生数



（４）本科学生の入学状況

ア　入学者数は5,252人で、前年度より224人(対前年度△4.1％)減少している。年齢別では18歳が最も多く、4,446人(構成比84.7％)である。 [統計表68]

イ　男女別では、男子418人(構成比8.0％)、女子4,834人(同92.0％)で、前年度より男子は9人増加、女子は233人減少している。 [統計表68]

ウ　入学者を出身高等学校の所在地別にみると、近畿地方出身者は4,741人(構成比90.3％)である。そのうち大阪府内高等学校出身者は3,530人で、全入学者に占める割合は67.2％である。 [Ⅰ-13-3表]

[Ⅰ-13-3表]　出身高校の所在地別入学者数と大阪府内高校卒業者の短期大学所在地別入学者数



（５）教員数（本務者）

ア　教員数(本務者)は643人（うち学長13人、副学長11人）で、前年度より9人（対前年度

△1.4％)減少している。そのうち外国人教員数(学長・副学長を除く)は、17人(構成比2.7％)である。 　　[統計表70・71]

イ　男女別では、男性311人(構成比48.4％)、女性332人(同51.6％)で、前年度より男性は2人、女性は7人減少している。 [統計表70]

（６）教員数(兼務者)

教員数(兼務者)は1,651人で、前年度より22人(対前年度△1.3％)減少している。そのうち外国人教員数は、75人(構成比4.5％)である。 [統計表70]

１４　大学・大学院・短期大学の通信教育

[Ⅰ-14-1表] 　　主要指標の推移



（１）学校数

通信による教育を実施している学校は5校(通信制の学部を置く大学3校、短期大学2校)で、前年度と同数である。

　なお、全国で通信教育を実施している学校の実数は、64校（大学44校、大学院27校、短期大学11校で、うち大学と大学院の両方で通信教育を行う大学は18校）である。 [Ⅰ-14-1表]

（２）学生数

ア　学生数は8,648人（大学5,316人、短期大学3,332人）で、前年度より144人（対前年度△1.6％)減少している。 [Ⅰ-14-1表]

イ　学生のうち、正規の課程の学生は4,731人(大学2,195人、短期大学2,536人)、科目等履修生・聴講生は3,901人(大学3,107人、短期大学794人)で、前年度より正規の課程の学生は126人減少（大学158人減少、短期大学32人増加）し、科目等履修生・聴講生は10名減少（大学39人増加、短期大学49人減少）している。 [統計表72]

ウ　男女別では、男子2,819人(構成比32.6％)、女子5,829人(同67.4％)で、前年度より男子は163人減少し、女子は19人増加している。 [統計表72]

エ　正規の課程の学生の職業別では、無職2,710人(構成比57.3％)が最も多く、次いで会社(商店)員・銀行員等996人(同21.1％)、その他555人（同11.7％）の順である。 [統計表73]

オ　正規の課程の学生の年齢別では、18歳～22歳が1,442人(構成比30.5％)、23歳～24歳が359人(同7.6％)、25歳～29歳が595人(同12.6％)、30歳～39歳が859人(同18.2％)、40歳～49歳が778人(同16.4％）、50歳～59歳が412人(同8.7％)、60歳以上が286人(同6.0％)である。 [統計表74]

１５　高等専門学校

[Ⅰ-15-1表] 　　主要指標の推移



（１）学校数

学校数は1校(公立)で、前年度と同数である。 [Ⅰ-15-1表]

（２）学生数

ア　学生数は852人で、前年度より7人(対前年度△0.8％)減少している。 [Ⅰ-15-1表]

イ　学生のうち本科学生は797人、専攻科、科目等履修生・聴講生は55人で、前年度より本科学生は2人減少し、専攻科、科目等履修生・聴講生は5人減少している。 [統計表76]

ウ　男女別では、男子751人(構成比88.1％)、女子101人(同11.9％)で、前年度より男子は2人減少し、女子は5人減少している。 [統計表76]

エ　教員１人当たりの学生数は12.3人で、前年度より0.1人増加している。 [Ⅰ-15-1表]

（３）教員数（本務者）

教員数は69人で、前年度より1人(対前年度△1.4％)減少している。 [Ⅰ-15-1表]

１６　留学生

[Ⅰ-16-1表] 　　主要指標の推移



（１）留学生数

ア　留学生数は8,156人で前年度より242人（対前年度3.1％）増加している。 [Ⅰ-16-1表]

イ　留学生の内訳は、大学5,460人（構成比66.9％）、大学院2,669人（同32.7％）、短期大学27人（同0.3％）である。 [Ⅰ-16-1表]

ウ　費用別では、国費留学生764人（構成比9.4％）、私費留学生7,392人（同90.6％）である。

[Ⅰ-16-1表]

エ　男女別では、男子4,007人（構成比49.1％）、女子4,149人（同50.9％）である。

[Ⅰ-16-1表]

（２）国籍別留学生数

ア　国籍別では、中国5,007人（構成比61.4％）が最も多く、次いで韓国・朝鮮656人（同8.0％）、ベトナム496人（同6.1％）の順である。 [Ⅰ-16-2表・Ⅰ-16-1図]

イ　地域別では、東南アジア地域7,032人（構成比86.2％）が最も多く、次いで北米地域281人（同3.4％）、西ヨーロッパ地域272人（同3.3％）の順である。 [統計表78]

[Ⅰ-16-2表] 　　国籍別留学生数



[Ⅰ-16-1図] 　国籍別留学生数の割合

（３）専攻分野別学生数

ア　専攻分野別では、社会科学関係3,560人（構成比43.6％）が最も多く、次いで人文科学関係1,821人（同22.3％）、工学関係1,219人（同14.9％）の順である。

 [Ⅰ-16-3表・Ⅰ-16-2図]

イ　前年度と比べると、社会科学、医・歯学、教育の分野で増加している。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　[Ⅰ-16-3表・Ⅰ-16-2図]

[Ⅰ-16-3表] 　　専攻分野別留学生数



[Ⅰ-16-2図] 　　専攻分野別留学生数の割合

